「モバイル通信ユニット２」取扱説明書

携帯電話から自動通報できます。対応携帯電話は Softbank/NTT Docomo/au の３キャリアに対応。イヤホンマで会話できる多くの機種に対応、簡易通報装置として始めてA接点/B接点入力の2チャンネル併用入力を可能にしました。

◆ご注意

■本ユニットはA接点/B接点の2チャンネルを入力できます。いずれの入力も識別機能は付加されておりません。

■本ユニット有電圧入力が可能です。但し入力電圧範囲はDC30V/1A以下を遵守指摘下さい。

■接点入力時間は1/10 秒以下で設計されていますので、センサー接続の際チャタリング状態でも通報される場合があります。センサー入力端子に確実に結線されてから、イヤホンマイク平行プラグを携帯電話に入力して下さい。

■本器を壁面に設置する際は両面テープをご利用下さい。携帯電話は車載用の携帯電話ホルダーをご使用下さい。別ケースに収納の場合も同様です。

■自動通報用携帯電話のイヤホンマイク設定、スピードダイヤル設置は携帯電話の取説を参照して下さい。

■対応携帯電話の機種は別表をご覧下さい。記載されていない機種もありますのでご了承下さい。

■自動通報できる電話番号は、装着携帯電話に登録されている1箇所しか通報できません。

■送信先電話の話中、圏外、電源入力は想定しておりません。緊急用とで安全側にご使用の際は転送機能、キャッチホンサービスのご利用をお奨めします。

■A接点またはB接点の入力（自動通報中）に他の信号入力があると通報は切断されます。入力されるセンサーは接点保持機能（タイマー）の付加されたセンサーをお奨めします。（タイマー基板は当社でも扱っております）

■モバイル通信ユニット2は006P電池を使用しております。電圧範囲は本体裏面に記載していますが規定の電圧以下になる前に電池を交換して下さい。

■長期間ご使用の際は携帯電話付属の充電器を接続して下さい。

■本製品は防水、防滴構造になっておりません。

◆不明な点はお問合せ下さい。株式会社 計測技研 TEL018-862-11139（代表）